



編集・発行

大阪府立

呼吸器・アレルギー医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1

TEL: 072-957-2121

FAX: 072-958-3291

HP: <http://www.ra.opho.jp>

E-mail: kokyucen@ra.opho.jp



6月の歳時記

副院長 おおた みつのり
太田 三徳

旧暦6月は新暦の6月下旬から8月上旬に当たり水無月ともいわれます。これは梅雨が明けて水が涸れて無くなる月、あるいは田植が終わって田んぼに水を張る月「水張月(みづはりづき)」などの謂われがあります。今の暦では梅雨の始まる月です。

1ヶ月ほどで終わるはずの梅雨が長引くと冷夏・多雨となります。1732年(享保17年)梅雨が2ヶ月以上も続き西日本の収穫量は平年の30%以下となり、「徳川実紀」によれば餓死者は90万人を越えたと記録されています。この享保の大飢饉をきっかけに、将軍吉宗が起用した儒学者：青木昆陽によりサツマイモの栽培が全国に広がり、以後の関東・東北地方の飢饉では多くの命が救われました。

青木昆陽の弟子に前野良沢がありますが、この人は日本で最初の解剖学書「解体新書」の翻訳の中心人物の一人です。46才で蘭学を志し48～51才で杉田玄白らと翻訳を行いました。「神経」や「動脈」「十二指腸」など現在も使われている医学用語もこの翻訳時に作られました。解剖図は平賀源内の弟子で秋田藩角館の小田野直武(秋田蘭画の創始者の一人、日本での遠近画法を始めた)が起用されました。当代の才人が集まって編纂、出版となり、この刊行後医学の発展と西洋文化の理解が進みました。梅雨とサツマイモと医学が微妙に絡まる6月です。

梅雨以降は食中毒が増える時期でもあります。食事の手洗いと生食を避けて夏に備えてください。

OCT 検査で分かること

診療局長兼眼科主任部長

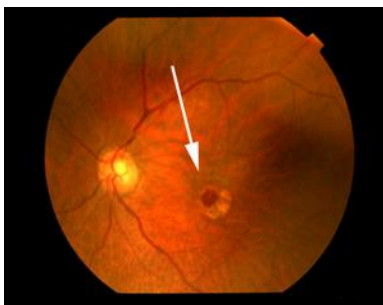
ささべ てつお
笹部 哲生

眼科では、2年ほど前からOCT検査(光干渉断層計)を行っております。

眼底検査が、網膜を表面から観察する平面的検査であるのに対し、OCT検査は、層構造をしている網膜の断面を観察する検査です。

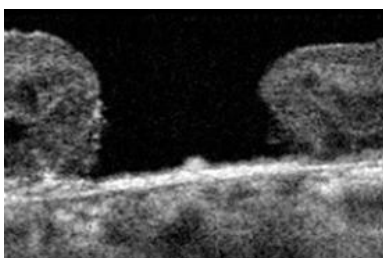
眼底写真—①

眼底写真—②



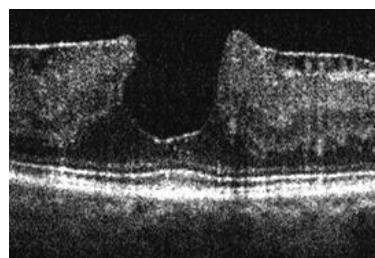
①のOCT

②のOCT



網膜

脈絡膜



網膜

脈絡膜

眼底写真—①、②はどちらも矢印の先に穴があるように見えます。

OCT 検査では①には網膜全層を貫く穴が認められ、病名は黄斑円孔、早急な手術が必要となります。

一方②の穴は網膜の下 1/4 におよんでいません。病名は偽性黄斑円孔で手術の緊急性はありません。

ただし、②の網膜の最上層には白い線がはっきりと認められます。これは②の網膜の上に病的な膜が覆っていることを示しており、病名は黄斑上膜です。

その他に分かること

OCT は網膜を断層的に観察できる検査装置ですので、網膜浮腫、網膜剥離、脈絡膜からの新生血管や加齢黄斑変性の診断に活用できます。また、視神経乳頭の陥凹の状態や、網膜の上層の厚みが詳細に観察することができ、緑内障の診断や進行の把握に役立ちます。

<薬局の紹介シリーズ⑥>NST (栄養サポートチーム) と栄養不良 薬局 山東 真寿美

栄養不良は体に必要な栄養素のバランスが取れていない時に起こり、栄養素が不足すると「栄養不足」、過剰になると「栄養過多」になります。

現在の日本では、食生活が豊かになり、「栄養過多」や偏った食事で生活習慣病が増加している一方、食欲がない、うまく噛むことが出来ない、飲み込めない等の理由で、栄養不足の患者さんが予想以上に多いことが注目されています。栄養不良になると、次のような状態に陥りやすくなります。

- ① 病気が治りにくい。
- ② 感染症を合併しやすい。
- ③ 褥瘡(床ずれ)が発生しやすい。
- ④ 手術後の合併症が発生しやすい。

栄養状態の改善は病気の治療にとっても重要です。

そこで、様々な職種がチーム(Nutrition Support Team: NST)を組んで、入院患者さんの栄養をサポートしています。

当センターの NST は医師・看護師・管理栄養士・臨床検査技師・薬剤師などで構成されています。

NSTの主な役割は次のようなものです。

- ① 個々の患者さんの栄養状態と栄養管理内容の確認
- ② 最もふさわしい栄養管理法(食事・栄養剤)を検討・実施

* 食事ができない状態であれば点滴による栄養や経腸栄養の検討

(経腸栄養とは、消化管機能を利用し、チューブを用いて栄養剤を投与する方法)

* 食事ができる状態であれば、個々の患者さんに応じた食べやすい食事の形態(きざみやとろみなど)の変更や栄養補助食品の使用等の検討

③ 栄養管理法の安全管理

* 点滴が原因で起こる感染、経腸栄養チューブが原因で起こる潰瘍や感染の予防など

④ 嚥下可能か見極め、機能が働いていれば、嚥下を始めるところからの訓練

薬剤師は、患者さんに適した薬(栄養剤)の選択、消化を助ける薬の選択、副作用に対するサポートや薬の相互作用を確認する業務を担当しています。

「食」は「人を良くする」と書きます。個々の患者さんに合った栄養管理法で、

患者さんが早く元気になってもらえるようにチームでお手伝い出来ればと考えています。



6月の教室案内

*カンガルー教室	●6月6・13・20・27日	午後1時半～	第1会議室
*喘息教室	●6月21日	午後1時45分～	第1会議室
*禁煙教室	●6月7日	午後3時30分～	医療情報コーナー